



SAPPORO



2017年4月より本格稼働した
ポッカ・ディーマ・インターナショナル社の
飲料製造工場(インドネシア)

サッポロホールディングス株式会社

証券コード 2501

第94期 2017年1月1日から
2017年6月30日まで
中間期株主通信

成長ステージへの移行を目指し 中期経営計画を着実に遂行

この2017年度から「第一次中期経営計画2020」がスタートしました。私たちサッポログループは、本計画に基づく4年間の取り組みを通じて「異次元スピードでの変革」を遂げ、成長ステージへの移行を目指します。

当上期の営業状況は、ビールの好調が業績を牽引した国内酒類事業をはじめ、全ての事業セグメントにおいて前年同期を上回る売上高を確保し、中期経営計画の立ち上がりとしても順調な半年間となりました。

私たちは「酒」「食」「飲」の3分野をコア事業と位置付け、不動産事業とともにグループが持つブランドを育成・強化しながら、着実な成長を実現していきます。そのための取り組みとして、国内酒類を中心とする成長の勢いを維持しつつ、「食」分野の拡大とグローバル展開に注力し、新たな成長性を獲得していく考えです。

グループ経営理念「潤いを創造し 豊かさに貢献する」の実践として、商品・ブランドの価値を磨き上げ、さらなる飛躍に挑戦してまいります。

代表取締役社長

尾賀真城

サッポロビール

黒ラベル THE PERFECT BAR
THE PERFECT DAYS
THE PERFECT BEER GARDEN
40周年



サッポロライオン

銀座ライオン
7月羽田空港店
リニューアルオープン



サッポロ不動産開発

恵比寿
ガーデンプレイス
DINING & SKY [TOP of YEBISU]
グランドオープン



ポッカサッポロフード&ビバレッジ

レモン事業 **60**周年



サッポロビール

エビス 売上好調
華みやび(3月)、琥珀エビス(9月)
発売



サッポロインターナショナル

韓国
販売数量アップ
新CM投入(5月)



カナダ(スリーマン)
ケベック州にて
Carlsberg
発売開始(4月)

p10



ものづくりへの真摯な姿勢を貫き
商品・ブランドを磨き上げていきます。

代表取締役社長

尾賀 真城

Q1 2017年度上期を振り返り、
営業状況についてお聞かせください。

全事業セグメントでプラス成長を遂げ、
業績は好調に推移。おおむね計画どおりの
進捗となりました。

2017年度上期は、ビールを中心とする国内酒類事業の好調に加え、国際事業による海外販売も伸長するなど、全事業セグメントにおいてプラス成長を遂げ、順調な売上拡大を果たしました。利益面では、各事業セグメントの売上高増加による影響の一方で、積極的なブランド投資の実施と物流費の高騰により固定費が増加し、営業利益はほぼ前年同期並みとなりました。

結果として当上期の連結業績は、売上高2,579億70百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益30億18百万円

(同1.0%減)、経常利益26億54百万円(同1.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億22百万円となり、おおむね計画通りの進捗を得たと捉えています。

各事業セグメントの状況を振り返ると、国内酒類事業は、ビールの基軸ブランドである「サッポロ生ビール黒ラベル」「エビス」を中心に、近年の好調を持続させるべくブランド投資による強化を図り、成果を上げました。

国際事業は、米国販売会社のサッポロUSA社とカナダのビールメーカーであるスリーマン社がいずれも販売計画をクリアし、北米のビール事業は順調に拡大しています。特に2006年に子会社化したスリーマン社は、この数年で躍進し、国際事業の成長の柱となってきました。一方、サッポロベトナム社の売上計画は未達となりましたが、差別性のあるブランドの構築に向けて現在

構造改革を進めているところです。

食品・飲料事業は、「加賀棒ほうじ茶」「富良野ラベンダーティー」といった特長ある飲料を中心に堅調に推移し、スープ事業の好調も業績に寄与しました。

外食事業は、「エビスバー」「銀座ライオンビヤガーデン」の新規出店、「ビヤホールライオン 銀座七丁目店」の改装を実施し、シンガポールにおいても出店・改装を進めた結果、売上を伸ばしたものの、人件費や食材仕入価格の上昇により利益面はマイナスとなりました。

不動産事業は、「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ首都圏の各保有物件が高稼働率を維持しています。昨年9月に開業した「GINZA PLACE (銀座プレイス)」も収益に貢献しました。

Q2

「おいしさ技術研究所」の設置など、研究開発面の新たな動きをご説明願います。

「食」分野の拡大に向けて食品製造・加工技術を強化。当社グループ独自の価値創造を追求します。

当社グループは、研究開発体制再編の一環として、今年3月に「おいしさ技術研究所」(神奈川県横浜市)を設置しました。これは、事業会社の枠を超えてグループとして食品製造・加工技術を強化するために、従来のサッポロビール社の価値創造フロンティア研究所およびポッカサッポロ社の一部機能を移管・統合したものです。同研究所は今後「食」分野の拡大に向けて、レモンや大豆、乳酸菌などの素材・機能研究と発酵をはじめとする製造・加工技術を追求し、これらを組み合わせた

新商品の開発を通じて、当社グループ独自の価値創造を担っていきます。

こうした「食」分野の研究開発において当社グループは、この上期中にも素材・機能に関する成果を発表しました。レモンについては、機能成分のクエン酸による小腸からのカルシウム吸収促進作用とそのメカニズムを解明した他、レモンによる新たな健康機能として、レモンポリフェノールの長期摂取による老化度抑制効果を確認しました。また、肌の保湿向上などの機能を確認している「SBL88乳酸菌」については、ポッカサッポロなど各グループ会社の商品への活用を推進しています。いずれも機能性食品の開発など消費者ニーズを捉えたさらなる価値創造につなげるべく引き続き取り組みを進めていきます。

Q3

中期経営計画に基づく事業戦略の立ち上がり状況はいかがですか？

成長の土台づくりを進める最初の2年間を重視。各テーマともほぼ順調に立ちあがっている状況です。

昨年、当社グループは次の10年に向けた長期経営ビジョン「SPEED150」を策定し、そのファーストステップとして、2017年度から4カ年にわたる「第一次中期経営計画2020」を始動しました。本計画は「成長ステージへの移行に向けた異次元スピードでの変革」を基本方針に掲げており、2020年度まで4年間の計画期間においては、成長の土台づくりを進める最初の2年間の取り組みが極めて重要になると考えています。

本計画では、事業戦略テーマとして「既存事業の継続的成長」「投資事業の成果創出」「成長機会の獲得」の3つを推進していきます。計画始動から半年を経過した現在、各テーマにおける成長の土台づくりは、進捗度に差はあるものの順調に立ち上がっている状況です。

「既存事業の継続的成長」は、特にビールの好調を維持し、さらに波に乗せていくためのブランド強化がカギとなります。同時にワインやRTDを着実に伸ばし、成長の柱に育成していくことが課題です。食品・飲料は、レモンやスープ、豆乳などを中心に個性的な展開領域での事業の成長を目指します。

「投資事業の成果創出」は、ベトナム酒類と北米飲料、

国内食品・飲料の収益性向上が課題です。販売数量や売上高の追求からバランスシートに注目した取り組みにシフトし、資産の有効活用や組み替えなども進めつつ、成長ステージへの移行につなげていきます。

「成長機会の獲得」は、先ほど研究開発面の動きとして述べました「食」分野の拡大とともに、北米と東南アジアを中心とするグローバル展開の推進に注力しています。とりわけ米国市場での成長を加速すべく、今年8月に現地プレミアムビールメーカーのアンカー・ブリューイング・カンパニー社を子会社化しました。

Q4 グループ経営基盤の変革に向けた取り組みについてご説明願います。

**研究開発体制の強化と
人事・人財面の変革が重要テーマ。
グループ全体として取り組んでいきます。**

中期経営計画を支えるグループ経営基盤については、グループの成長を促進する研究開発体制の強化と人事・人財面における変革が重要なテーマとなります。

研究開発体制については、当社グループの現在の事業領域に近いところで、すでに持っている資産を活かしながら総合力を発揮していく体制づくりが必要だと考えて



国内酒類事業



サッポロ生ビール
黒ラベル



エビスビール



麦とホップ
The gold

国際事業 海外の主要工場



スリーマン社
ゲルフ工場(カナダ)



サッポロベトナム社
ロンアン工場(ベトナム)

います。先ほど「おいしさ技術研究所」に関して述べましたレモンや大豆、乳酸菌といった既存資産、そして昨年からグループに加わった神州味噌社の味噌なども含め、「一緒に何ができるか」という視点で取り組みを強化していきます。

そして全ての取り組みにおいて、最後はやはり「人財」にかかる変革が求められてくると思います。これは、近年の社会課題でもある「働き方改革」「女性活躍推進」や「健康経営」、あるいは海外事業におけるグローバル人材の育成などにもつながってくるテーマです。いろいろな立場の従業員に合わせ、さまざまな選択肢と可能性を持つ職場づくりを進めていき、その多様性を成長に活かしていく考えです。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

「個性かがやくブランドカンパニー」として企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

冒頭に申し上げましたとおり当上期の営業状況は、おおむね計画どおりの進捗となっており、通期の連結業績については、期初の予想どおり売上高5,638億円

(前期比4.1%増)、営業利益213億円(同5.1%増)、経常利益203億円(同5.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益107億円(同13.0%増)を達成できる見通しです。

株主の皆様への利益還元につきましては、配当性向30%を目安とする財務指標を掲げております。引き続き業績の向上に努め、さらなる利益還元の拡充を目指してまいります。

当社グループは、「酒」「食」「飲」を提供するメーカーとして、お客様においしさや楽しさ、喜びをお届けすることをミッションとしています。そのために必要な安全・安心の確立や健康への寄与にこだわりながら、ものづくりへの真摯な姿勢を貫き、お客様との接点である商品・ブランドをさらに磨き上げていきます。

その取り組みを通じて、長期経営ビジョンに掲げる「個性かがやくブランドカンパニー」を実現し、より大きな社会的貢献を果たすとともに企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、サッポロにしかできないものづくり・人づくりへの取り組みにご注目いただきながら、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

食品・飲料事業



ポッカサッポロ社商品

外食事業



ビヤホールライオン 銀座七丁目店

不動産事業



恵比寿ガーデンプレイス



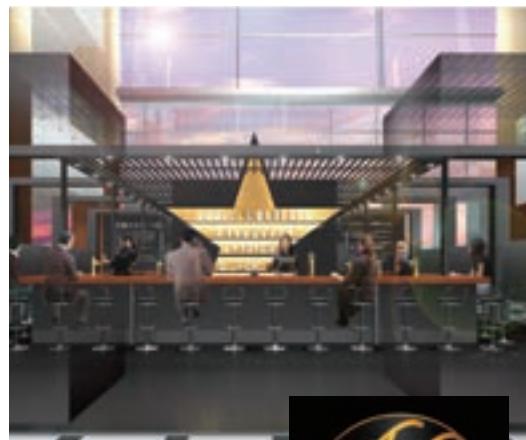
GINZA PLACE(銀座プレイス)

黒ラベル 40周年

(THE PERFECT BAR, THE PERFECT DAYS, THE PERFECT BEER GARDEN)

今年誕生40周年を迎えた黒ラベルは、過去2年連続で売上を伸ばし、その好調さを現在も維持し続けています。特にお客様が自ら商品選択をする缶製品での伸びが顕著で、2015年のリニューアル以降、28カ月中27カ月で前年販売実績を超えています(7月末現在)。40周年を迎えた今年は、東京と大阪で「THE PERFECT BAR」と「THE PERFECT BEER GARDEN」を、全国8都市で「THE PERFECT DAYS」を開催しました。「THE PERFECT DAYS」では、前年の2倍以上の3万人を超えるお客様にご来場いただき、黒ラベルの世界観と品質に直接触れていただくことができました。このような取り組みが黒ラベルの好調さを支えています。

黒ラベルは「本当においしい生ビールをご家庭でも味わっていただきたい」という想いから生まれました。そして、その想いは40年を経過した今も変わっていません。



黒ラベル<黒>

黒ラベルで用いる「旨さ長持ち麦芽^(注)」を高温で丁寧に焙燥した黒麦芽を一部使用した、黒ラベルの目指す、クリーミーな泡、麦のうまみと爽やかな後味を実現した黒ビールです。

昨年は「THE PERFECT BEER GARDEN」で提供し、また景品としても使用しましたが、大変ご好評をいただき、今年は「THE PERFECT DAYS」と「THE PERFECT BEER GARDEN」での提供に加え、10月3日より数量限定で一般販売をします。どうぞご期待下さい。

(注)ビールの風味を劣化させる成分(LOX-1<ロックスワン>：脂質酸化酵素)を持たない大麦からつくられた麦芽。2011年のクオリティアップから、サッポロ生ビール黒ラベルで一部使用。

エビス 売上好調 華みやび、琥珀エビス発売



エビスブランドは、本年も多くのお客様にご愛飲いただき、1-6月で売上が前年比104%超と前年を上回り好調に推移しています。

主軸であるエビスビールは、従来のハレの日需要に加え、「エビスで楽しむ、幸せなひととき。」というテーマのもと、旬の食材や四季折々の催事との連動を強化する取り組みを進めており好調を維持しております。

好調なエビスビールに加え、本年3月に発売した「エビス華みやび」は、エビスビールとは異なる味わい、商品イメージで30~40代の新たなお客様との接点を拡大しており、ブランドトータルでの面拡大に貢献しています。

本年9月12日には、発売12年目となる「琥珀エビス缶」を期間限定で発売します。秋・冬には様々な旬の味覚が登場しますので、進化した「琥珀エビス」とともに、この時期ならではの幸せなひとときをお楽しみいただきたいと思います。

進化する 安曇野池田ヴィンヤードに 乞うご期待

今年6月、自社畑「安曇野池田ヴィンヤード」にAI（人工知能）を導入しました。

これまで栽培技術者が丹精込めたぶどう造りをしてきましたが、データを活用し体系化された栽培技術を確立することで、さらなるぶどうの品質向上と栽培技術のスピーディーな伝承を目指します。9月5日にはグランポレール「安曇野池田ヴィンヤードシリーズ」の新ヴィンテージが登場。前ヴィンテージに比べぶどうの樹が成長した分果実味が増し、より凝縮感を感じていただける自信作です。今後も新中期経営計画で掲げた「ワインをビールに次ぐ第2の柱に」すべく育成していきます。



グランポレール チーフワインメーカー
工藤 雅義

ハロウィンデザイン商品を発売



日本におけるハロウィンの推定市場規模は近年急拡大しており、昨年の推定市場規模はバレンタインを上回る状況となっています。

当社は、ハロウィンでの家飲みやホームパーティー需要を盛り上げるアイテムとして、かぼちゃやコウモリなどをあしらった「エビス 華みやび」や「麦とホップ The gold」などの「ハロウィンデザイン」商品をカテゴリーを横断して取り揃えました。また、ハロウィンの専用WEBサイトを開設し、ハロウィンフォトコンテストの実施やハロウィン専用レシピの提案などを行うことで、ハロウィンを大いに盛り上げていきます。



「愛のスコールホワイトサワー」全国発売へ

「サッポロ 愛のスコールホワイトサワー」は、今年の3月14日より西日本エリア限定で販売をしてきましたが、大変好評いただき、発売わずか3ヶ月で年初計画を達成し、9月5日より全国発売することとなりました。



Q 成功の要因は何ですか？

A シュワツとはじける甘酸っぱさと、キレの良い後口ですっきりとした味わいが、子どもの頃、「愛のスコール」に親しんできた世代からご支持をいただけたのだと思います。また、「愛

のスコール」というブランド力に加え、営業マンの熱い想いと店頭での露出強化が成功に繋がったと思います。

Q 全国発売に際してひとこと

A 西日本では非常に親しみをもっていただいている「愛のスコール」を、東日本のお客さまにも広く知っていただくところからの取り組みとなります。社員一同もがんばりますが、株主の皆様にもご支援をいただき、ぜひ全国発売を成功させたいと思っています。

ブランド担当

サッポロビール
スピリッツ事業部 RTDグループ
野村 祥子



韓国 販売数量アップ、新CM投入



CM連動ポスター



撮影風景



売場

現在韓国では、嗜好の多様性、訪日韓国人観光客の増加、日本製品への信頼性の高まり等により、日本のビールが大人気です。当社SAPPORO PREMIUM BEER (SPB)も味、品質への評価の高まり、また積極的なマーケティング、営業活動により、ここ3年で2.2倍の売上となっています。本年のTVCMには、昨年同様有名コメディアンのシン・ドンヨプさん(写真右)と「バラードの貴公子」こと歌手のソン・シギョンさん(写真左)が出演しています。CMの中では、SPBのきめ細やかな泡を楽しみながら、上質な旨さを味わう2人を描いています。本年も、韓国でのブランド価値向上と売上の大きな拡大を目指します。

カナダ(スリーマン) ケベック州にてCarlsberg発売開始

カナダでは、本年上半期ビール市場の伸びが前年を下回る中、スリーマンの売上数量は前年実績を上回り、シェアアップを果たしました。特にケベック州では、Carlsberg Canada社とパートナー契約を結び、4月よりデンマーク発祥の世界的ブランドであるCarlsberg、TUBORG、その他 Kronenberg1664等の販売を開始しました。営業担当者の積極的なセールス活動により順調なスタートを切っておりますが、この契約は、売上数量、利益貢献、既存ブランドポートフォリオの補完という面でも非常に大きな意味を持ちます。これからもスリーマンの成長戦略にご期待ください。



Carlsberg 商品+Sleeman 商品ディスプレイ



レモン事業60周年

「ポッカレモン100」をはじめとしたレモン商品や
レモンの持つ価値をお届けしていきます

ポッカサッポロは1957年にレモン事業を開始し、今年で60周年を迎えました。食生活の洋風化、女性の社会進出、健康志向の拡大といった移り変わる社会事象を背景に、「ポッカレモン100」はじめ、手軽で便利なレモン商品の開発を行ってきました。さらに、レモンの持つ健康機能の研究やレモンに関する情報発信を行うことで、多くのお客様の食生活にレモンを取り入れていただけるよう様々な提案を続けていきます。



「ポッカレモン100」



ブランド担当

ポッカサッポロフード&ビバレッジ
マーケティング本部 食品ブランド戦略部
レモン食品グループ
有馬 忠宏

当時は、カクテル商材として生まれた商品ですが、日本人の食の洋風化に伴い、紅茶に加えたり、レモネードなどを作ったり、焼き魚や揚げ物にかけるなど様々な用途が広がり安定的な市場が形成されました。

最近では塩味を引き立てて減塩などレモンの調理機能も注目されています。レモンは生活向上品として、お客様の食生活を豊かにする名脇役ですので、これからも当社が繰り出すレモンならではの提案をお届けしていきます。

インドネシア飲料製造工場が稼働開始

お茶、紅茶、果汁入り飲料など、現地のニーズに沿った商品展開



生産ラインの様子



インドネシア飲料製造工場外観

ポッカサッポロの子会社ポッカコーポレーション・シンガポール社とインドネシアのDIMA社の合併会社ポッカ・ディーマ・インターナショナル社の飲料製造工場が、2017年4月より本格稼働し、製品の出荷を開始しました。インドネシアにおいては、これまでDIMA社が輸入販売代理店としてPOKKAブランド

の茶系飲料や果汁飲料などを販売してきましたが、今後はインドネシア国内で製販一体となった事業展開を行っていきます。稼働開始した工場では、350ml~500mlサイズのPETボトルにお茶や紅茶、果汁入り飲料などを充填できるPETボトル充填ラインを導入しており、まずは主力商品「450ml ジャスミングリーンティ」「350mlレモンブラックティ」を中心に展開し、今後は市場のニーズに合わせて新商品を発売していく予定です。



銀座ライオン 7月羽田空港店リニューアルオープン

サッポロライオンは、羽田空港第一旅客ターミナルビルに「銀座ライオン 羽田空港店」を2017年7月3日にリニューアルオープンしました。羽田空港第一ターミナル到着1番出口からすぐに位置し、旅行やビジネスのお客様や、待ち合わせなど空港利用のお客様に幅広くご利用いただきたく、全112席(全席禁煙)としてリニューアルしました。

ビヤホールメニューはもちろん、出発前や、到着後にご利用いただけるようお食事メニューも多数ご用意しました。看板メニューは、ご注文ごとにじっくり丁寧に焼き上げる、ジューシーな手仕込みハンバーグです。デミグラスソース・和風おろし・トマト&チーズ等、様々な種類のハンバーグをお届けします。



恵比寿ガーデンプレイス ~DINING & SKY [TOP of YEBISU] グランドオープン~



恵比寿ガーデンプレイスでは、食体験のさらなるバリエーションの充実を図るべく、恵比寿ガーデンプレイスタワー38・39階レストランフロアDINING & SKY [TOP of YEBISU] をリニューアルし、このたび8月にグランドオープンしました。38階は「和」をテーマに、モダンに和食を楽しめるフロアとして、また39階は『Think the world』、「世界」をテーマに、日本初出店となるタイレストランをはじめ、イタリアンや中華など世界の厳選された料理の数々を、カジュアルでありながら洗練されたサービスの中でお楽しみいただけるフロアとして生まれ変わりました。

この街を訪れるお客様がハレの日に大切な方と気軽に楽しんでいただけるよう、今後も魅力溢れる施設づくりに努めていきます。





レモンの価値発信

サッポロホールディングス/ポッカサッポロフード&ビバレッジ

広島県 大崎上島町における健康調査研究スタート

サッポロホールディングスとポッカサッポロは、協定を結んでいる広島県大崎上島町において、成人と成長期の児童を対象に、レモンを長期間摂取する効果を調べる健康調査研究を本年2月より開始しました。レモン生産地である同町の町民のレモン摂取による健康状態への影響を調査

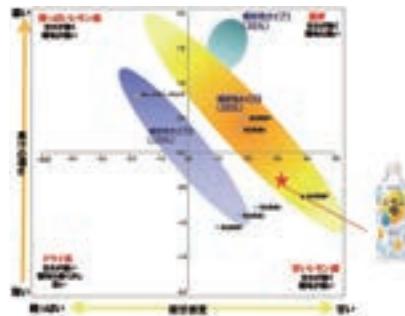
することにより、町民の健康増進と生産振興に寄与するとともに、新たなレモンの価値発信を続けていきます。



サッポロホールディングス

レモン飲料の味覚と嗜好性の関係を研究

サッポロホールディングスは、ポッカサッポロ、東北大学とともに、レモン飲料の味や香りにおけるヒトの知覚と嗜好性の関係を研究し、その成果を「日本農芸化学会2017年度大会(3月・京都)」で発表しました。プリファレンスマップという手法でまとめられた本成果は、本年3月に発売されたポッカサッポロ「レモンの雫」の商品開発にも活用されました。



おいしさ評価と加工技術で、新価値創造を加速します

サッポロホールディングスは、食に関する流行や情報の発信地である首都圏での研究拠点として、グループR&D本部傘下に、今春新たに「おいしさ技術研究所(横浜市新羽町)」を設立しました。社内外との連携を積極的に行い、食の新価値創造のスピードアップを図ります。

サッポロビール ヨーロッパ醸造学会より、最高賞3期連続受賞

サッポロビール 商品・技術イノベーション部 谷川篤史らは、日本生まれのホップ品種「ソラチエース」の香りに関する研究について「第36回European Brewery Convention(ヨーロッパ醸造学会 第36回大会・2017年5月・スロベニア)」にて発表し、ポスター部門の最高賞であるBest Poster賞を受賞しました。

当大会は2年に一度開催され、ビール醸造技術に関する世界的に権威のある学会のひとつです。当社は国内で同賞の受賞歴がある唯一のビール会社であり、今回の受賞により、3大会連続の最高賞受賞というさらなる快挙となりました。

<受賞ポスター表題>

Identification of geranic acid contributing to varietal aroma in SORACHI ACE and synergy with other hop-derived flavour compounds (ソラチエースの特長香成分ゲラン酸とホップ由来の香り成分の相互作用について)



CSR重点課題と4つの約束

サッポログループは、より具体的にCSR経営を推進していくために、本年6月、これまでの6つのCSRの課題を見直し「CSR重点課題」を特定しました。重点課題は、国際的なCSRの各種ガイドラインを手引きとして、ステークホルダーへのアンケートで寄せられた回答内容等も加味しな

がら、今後サッポログループにとってより重要になるとと思われる課題を分析・特定したものです。さらに、社内外へ発信・周知するために重点課題を分野的にまとめ、「4つの約束」を新たに決めました。日々のCSRの取り組みに浸透するよう、一層力強く、スピーディにCSRを推進してまいります。

CSR重点課題と4つの約束 概念図

事業の基盤を成すコーポレートガバナンスと共に、
『酒・食・飲』『社会』『環境』『人財』が事業の成長の源泉であるブランド・信頼を形成します。



株主優待制度を通じた東北復興支援

株主優待制度を通じた株主の皆様からの寄付金179万1,000円にサッポロホールディングスが同額を加えた358万2,000円を東北の復興支援に活用します。昨年度に引き続き、東北の復興を担う子どもたちの3つの取り組みに寄付します。7月12日には、岩手県大船渡市へ市の花“椿”をテーマとした学習支援に80万円、岩手県大槌町へ小中一貫教育の柱として行われる“ふるさと科”学習支援に



左から尾賀社長、大船渡市戸田市長



100万円を寄付しました。秋以降に福島県の合唱・吹奏楽連盟の復興祈念演奏会に178万2,000円を寄付します。

「働き方改革2020」キックオフ

サッポロビールは、仕事の生産性向上・心身の健康・生活の充実を目的に働き方改革を本年よりキックオフしました。各自の業務を優先順位づけし、取捨選択を進める一方、テレワーク・時間有休・スーパーフレックス制度を導入し、働き方の選択肢を拡大し、時間の創出を図ります。また、終業時間から次の日の始業時間までに最低11時間を確保する勤務間インターバル制度を導入します。これらの制度は、現在、一部の部署でテスト運用を行っており、

効果や業務への影響を確認して随時、全社的に導入する計画です。

ポッカサッポロとサッポロライオンでもプロジェクトを立ち上げ、今後さまざまな制度を検討していきます。サッポロインターナショナルでは海外との時差を考慮し、よりフレキシブルな勤務体系を構築すべく検討中です。サッポロ不動産開発でも働きやすい環境づくりおよび生産性向上に向けて、さらに取り組みを推進していきます。

「健康経営優良法人(ホワイト500)※」に認定

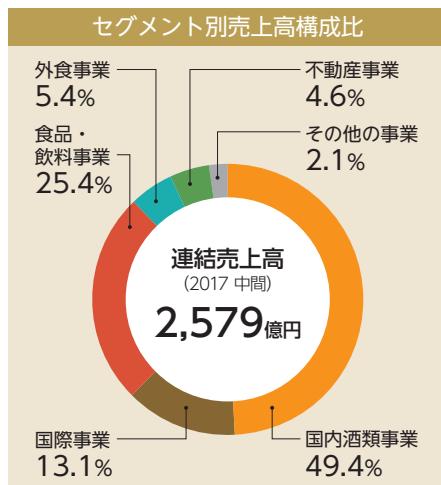
サッポログループでは、長期経営ビジョン「SPEED150」の中で、「最大の財産は人財であり、グループの人財が、心身ともに健康で、元気で明るく前向きなエネルギーをもって新たな領域に挑戦・越境し、サッポログループで働いてよかったと思える企業を目指す」ことを掲げています。

※経済産業省が経済界・医療関係団体・自治体のリーダーから構成される日本健康会議と共同で実施し、健康経営実践法人の拡大を図るもので、保険者と連携して優良な健康経営を実践している法人を顕彰する認定制度



サッポロホールディングス
福原取締役

事業の概況／連結決算概要



セグメント別売上高

	前中間	当中間	増減率
国内酒類事業	1,257 億円	1,275 億円	+1.4% ↑
国際事業	316 億円	337 億円	+6.6% ↑
食品・飲料事業	649 億円	654 億円	+0.8% ↑
外食事業	126 億円	138 億円	+9.2% ↑
不動産事業	109 億円	118 億円	+8.6% ↑

連結財務ハイライト (億円)

	2015		2016		2017	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末(予想)
売上高	2,458	5,337	2,489	5,418	2,579	5,638
営業利益	△12	139	30	202	30	213
経常利益	△14	132	26	192	26	203
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	11	61	4	94	2	107
総資産	6,211	6,203	5,948	6,263	6,060	—
純資産	1,619	1,638	1,513	1,663	1,655	—
自己資本比率(%)	25.1	25.5	24.6	25.7	26.5	—

詳細は当社ホームページをご覧ください。

サッポロ IR

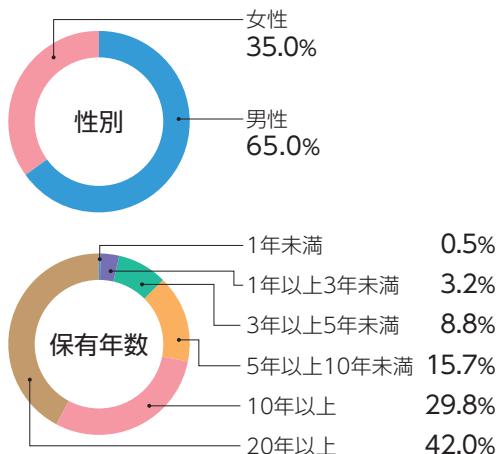
検索

株主様アンケート結果のご報告

本年の株主様ご優待品の発送に同封いたしましたアンケートに、8,385名の株主様からご回答をいただきました。ご協力まことにありがとうございました。

ここに、ご回答結果と株主様よりいただいたご意見等の一部をご紹介します。

ご回答者様データ



サッポログループに対するご意見ご要望をお聞かせください。

“ サッポロのビールが好きで株を購入しました。これからの成長、美味しいビールに期待しています。 ”

貴重なご意見・ご要望を賜り、まことにありがとうございます。今後の情報発信やIR活動などの参考にさせていただきます。

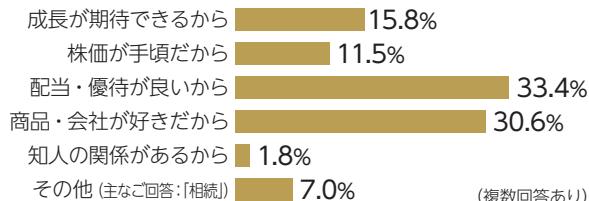
“ 原材料にこだわり、安心安全な商品を作り続けてほしい。 ”

“ 箱根駅伝のスポンサーずっと継続してください、CM好きです。 ”

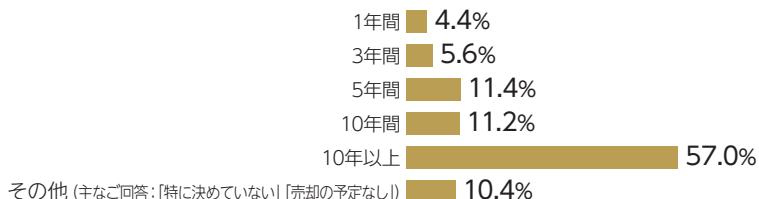
“ 株主優待を孫が楽しみにしています。新商品をいろいろ出してください。 ”

“ 長く株式を持っていたくなるような経営をお願いいたします。 ”

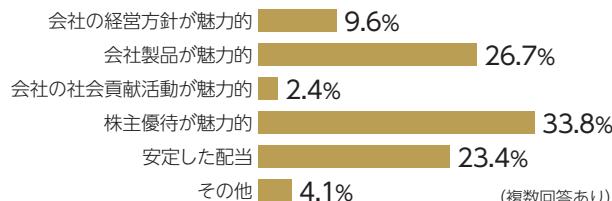
サッポロホールディングスの株式を購入・所有した理由をお聞かせください。



保有期間はどのくらいの期間をご予定されていますか



長期保有をお考えになるのはどのような場合ですか



IRカレンダー



■ 会社概要

商号 サッポロホールディングス株式会社
(英文 SAPPORO HOLDINGS LIMITED)
設立 1949年9月1日(創業明治9年)
資本金 53,886,649,941円
事業内容 持株会社
連結対象会社数 56社(連結子会社54社、持分法適用会社2社)
本社 〒150-8522
東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
(恵比寿ガーデンプレイス内)

■ 株式の状況

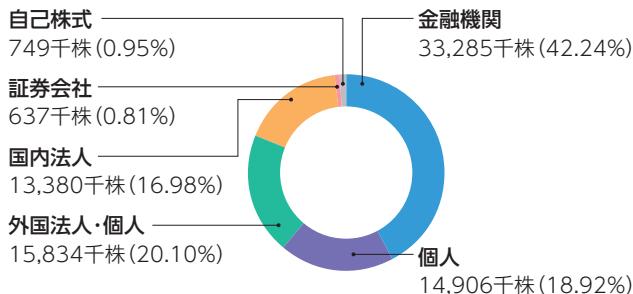
発行済株式の総数……………78,794,298株
株主数……………48,625名

■ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,566	7.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,092	3.96
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	2,442	3.13
明治安田生命保険相互会社	2,236	2.87
日本生命保険相互会社	2,229	2.86
農林中央金庫	1,875	2.40
株式会社みずほ銀行	1,806	2.31
丸紅株式会社	1,649	2.11
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,594	2.04
大成建設株式会社	1,400	1.79

※ 持株比率は自己株式(749,550株)を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況



■ 役員 (取締役・監査役・グループ執行役員)

代表取締役会長	上條 努	常勤監査役	尾崎 聖治
代表取締役社長	尾賀 真城	監査役	関 哲夫
取締役	野瀬 裕之	監査役(社外)	佐藤 順哉
戦略企画部長		監査役(社外)	杉江 和男
取締役	征矢 真一	常務グループ執行役員	高島 英也
経営管理部長		常務グループ執行役員	岩田 義浩
取締役	福原 真弓	常務グループ執行役員	刀根 義明
取締役	吉田 郁也	常務グループ執行役員	生駒 俊行
取締役(社外)	服部 重彦	常務グループ執行役員	溝上 俊男
取締役(社外)	池田 輝彦	グループ執行役員	立山 正之
取締役(社外)	鷗澤 静	グループ執行役員	岸 裕文

■ IRサイトのご案内

当社ホームページではIR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っております。



URL <http://www.sapporoholdings.jp/ir/>



本年3月発売の新商品 「エビス 華みやび」の CM第二弾。



サッポロビールのウェブサイトでは
**ウェブ限定動画や
メイキングムービーも公開中。**

URL <http://www.sapporobeer.jp/yebisu/hanamiyabi/>



上面発酵でつくったエビス初のホワイトビールである「エビス 華みやび」は、小麦麦芽ならではの華やかで爽やかな香りが特徴です。

グラスに注いだ瞬間にはじまり、喉元を滑り降りたあと、ふんわりと鼻腔に広がってゆく…。そんな香りに包まれる至福の時間を表現しています。今回、深田恭子さんがくつろいでいるのは、鳥の巣のような巨大なソファ。実際にゆらゆらと揺れるソファに包まれた、深田さんの贅沢なリラックスタイム。ゆったりとくつろいで、「エビス 華みやび」を愉しんでいる深田さんのうっとりとした表情にも注目です。

華やかで爽やかな香りに包まれて、ビール本来の豊かなコクを愉しめる「エビス 華みやび」とともに過ごす優雅なひとときを、ぜひご体験ください。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
配当金受領の株主確定日	12月31日及び 中間配当を実施するときは6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324
公告方法	電子公告 http://sapporoholdings.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

株式事務に関するご案内

配当金の口座振込の制度をご存知ですか？

配当金を郵便局の窓口で
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

配当金の振込指定の場合

ご指定の口座に振り込まれるため、配当金のお支払い開始日に安全かつ確実に配当金のお受け取りができます。

■ お手続きに関するお問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせください。

特別口座からの 振替のお手続きは お済みですか？

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に取り引口座を開設していただくうえで、特別口座から証券取引口座へ振替を行っていただく必要があります。特別口座から証券取引口座への振替をご希望の株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせのうえ、お手続きをお願いします。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)